

下表は日本での試飲調査の結果です。
 専門医の管理の下に患者さんに免疫ミルクを試飲していただきその効果を調べました。

| 症 例 | 症例数 | 改善数 | 備 考 |
|-----------------|-----|-----|--|
| 慢性関節リウマチ | 76 | 51 | 自覚症状（関節痛、腫脹、こわばりなど）の改善の他に、臨床検査値（リウマチ因子、血沈、CRPなど）の改善がみられた。また、骨破壊に関与されると考えられる抹消血の単球減少もみられた症例もあった。過去3回の日本リウマチ学会総会にて発表されている。 |
| アレルギー疾患・自己免疫疾患 | 44 | 34 | アトピー性皮膚炎、SLE、シェーグレン症候群、橋本病など：掻痒などの臨床症状が改善、臨床検査値において改善傾向がみられた。全身倦怠感の改善によるQOLの向上がみられた。 |
| 悪性新生物 | 4 | 4 | 癌抗がん剤投与下の放射線治療中においても食欲の低下を抑えたり、全身倦怠感の改善を可能にした。 |
| 進行性癌患者のQOL改善 | 16 | | 患者の満足度および臨床症状を5段階に分けて検討。全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐などに高い改善率が見られた (Therapeutic Research 20(11),1999) |
| 高齢者の発熱予防とQOLの改善 | 58 | | 高齢長期入院患者における発熱は、一般的な兆候であり、この対策は重要である。 「免疫ミルク」試食グループでは試食期間中における発熱日数は対照群に比べ短かった。 また、アンケートによる回答では、 「免疫ミルク」試食グループでは「しびれ感」「掻痒感」という感覚系の障害に対して、 また「ちょっと歩いたりする疲れる」という項目に対して高い改善効果が示された (診断と治療：88(10),2000年 No.10) |